



少しずつ暖かくなり、春の兆しが見えてきました。今年度のぱんだ組も早いもので今月で最後になりました。残りの1ヶ月、一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。



これまで園だよりでは、子どもたちの生活や成長を紹介してきました。微細運動、粗大運動としての遊び、言葉の発達、食事、着脱の場面など、毎日様々な年齢の子が利用する中で、一人一人の発達段階に合わせた「見通しのある保育」を常に心掛けてやっています。見通しのある保育において最も大切にしているのは「褒める」です。褒める事は、自分は認められたという気持ちや、やる気生まれたり、自己肯定感が高まって、自分を大切な存在だと感じる事が出来ます。そして、自信を持てるようになり、何か困事な事があっても、自分を信じてチャレンジ出来るようになります。それ以外にも、物事を考える力、発信する力になります。

子どもが考えた事を信じてやり通す力は、これからの成長に大切な事ですよね。

ご家庭で「ついつい注意が多くなっちゃって」「何回言ってもわからない」なんてことありませんか？ぜひ、子どものできることから認めて褒めてあげてください。パパ・ママからの嬉しい言葉をお子さんはいつも待っているはずですよ♪



0 歳児

今年度の途中から0歳児の利用が徐々に増え始め、時には0歳児の利用が二桁になる事もあり、毎日賑やかに過ごしています。子どもたちは初めての環境、初めての大人に最初は不安で泣いていましたが、少しずつ慣れ始め、笑顔を見せてくれる事が増えてきました。

名前を呼ばれたら「はい！」と手を上げ返事が出来るようになったり、大人が「玩具を片付けよ～」と言うと、玩具を元の位置に戻す子もいます。今まで出来なかった事が出来るようになり、子どもたちも成長し、私たちもとても嬉しいです。子どもたちにとって、ぱんだ組での生活は初めての経験なので、大人が見本を示したり、一緒に行くなど、一つ一つ丁寧に関わっています。繰り返し行う事で、子どもたちも覚えて自分でやってみよう！という気持ちになります。

私たちは出来た事、自分でやろうとした事を見逃さず、目を見てたくさん褒めています。子どもは「あっみてくれた！」と思い、さらに褒めてもらおうと嬉しくなり、またやろう！と意欲に繋がっていきます。例えば褒める時に「できたね、上手だね」だけではなく「靴下自分でもって、つま先まで入れられたね」など具体的に言葉にして褒めています。具体的に言葉にすることで、言葉の獲得にも繋がっていきます。意欲を褒めてあげる事が繰り返しに繋がり、できた時に一緒に喜び合う事で「新しい事もやってみよう！」と挑戦する気持ちに繋がっていきます。



1 歳児 2 歳児

1歳児、2歳児は自分で靴や靴下を履く、自分でスプーンを持ってご飯を食べる、自分でオムツを履くなど、たくさんの「自分で」を経験してきました。着脱の場面など、大人が手伝おうとすると、自らズボンやオムツを引き上げようとしていたり、頑張っている姿が見られました。『自分で』が増えていく中で、なかなかうまくいかない時は子どももイライラする事があります。そんな時は、大人がさりげなく手伝い、最後は自分でできるように、達成感を感じてもらえるようにお手伝いをして見守り、できた時には一緒に喜びを共有しています。

何か出来ない事があった時に、やろうとした事を褒める事で子どもたちは気持ちが一気にやる気へと変わっていきます。自分の事を見てくれた！それだけで子どもたちは嬉しくなります。

失敗した時でも、頑張った過程や挑戦した気持ちを認めて褒めてもらえたら、もう一度チャレンジしみようという気持ちに繋がっていきます。チャレンジして、できるようになった事がたくさん的一年でした！！



至らぬ点もあったかと思いますが、保護者の方々と一緒に子ども達の成長を見守る事が出来た事を嬉しく思います。1年間、ぱんだ組を通して子どもたちと楽しく、笑顔で過ごす事が出来ました。日々成長する姿には驚き、感動させられます。これからも様々な経験を通していく中で、さらに成長し何事にも意欲を持って楽しく生活していける事を心より願っております。

1年間、ご理解ご協力を頂きまして本当にありがとうございました。子育ての悩みは尽きないと思いますが、子ども達の成長は、お母さんお父さんのたくさんの愛情のこもった子育ての賜物だと思います！これからもご家族でたくさんの思い出を作り、素敵な日々を過ごして下さい。

あおぞら保育園では、育児の悩みや相談をいつでも受け付けています。いやいや期で大変、離乳食をどうしたらいいかわからない、なかなか夜寝てくれない等、どんな内容でもお話しください(^^)いつでもお待ちしております。通りかかった際など、気軽にお声掛けください♪

